

親の会 だより

第93号

発行日：H30.3.9

発行

岩手県ことばを育む
親の会

会長：主演 友子

事務局

盛岡市立桜城小学校
きこえとことばの教室内

《県親の会 ブロック研修会 報告》

今年度も県内各ブロックで、研修会が行われました。それぞれの活動を通して、情報の共有や悩み相談など、各支部親の会の活性化に役立つ学習会や情報交換がされました。
各ブロックの研修の様子についてお知らせいたします。

盛岡 A (盛岡・滝沢・雫石・矢巾・紫波)

活動日：十月七日(土) / 場 所：紫波町情報交流館

担当：小原 俊彦(事務局長)

内容：学習会「教室開設と親の会」講師 県親の会参与 森田 巧先生
各支部の発表

- ・県親の会参与の森田巧先生から、親の会の歴史や意義について教えていただいた。その後、各支部の活動の成果や課題を交流した。
- ・教育委員会訪問に関して、話しやすい関係を築き上げていくことが大切である。
- ・役員決めにもOBも参加して行うという支部の情報も参考になった。

盛岡 B (岩手・葛巻・八幡平)

活動日：十一月十一日(土) / 場 所：岩手町広域交流センター

担当：林 義明(副会長)

内容：学習会「葛巻の親の会活動の発表」・協議

- ・葛巻支部の活動事例の発表後、各支部の活動と課題を話し合った。初めての親が多く、ことばの教室や親の会への理解についての意見交換が多かった。
- ・親の会の会議の持ち方について、回数を減らしたり、集まりやすい時間を工夫したりしている。
- ・親の会の成り立ちを確認し、会への考え方を改めることができた。

県南ブロック A (花巻・北上・西和賀)

活動日：十一月十一日(土) / 場 所：北上市立和賀東小学校

担当：小崎 真樹(副会長)

内容：学習会：「親の会の在り方」

講師 岩手のことばを語る会 副会長 久保四男 先生
きこえ・ことばのグループに分かれて懇談

- ・講師の先生から、親の会の歴史やきこえの教室についての話を聞くことができた。
- ・教室での指導内容を理解することができた。
- ・他の親の考えや気持ちを聞く機会となった。

県南ブロック B (奥州・金ケ崎・一関)

活動日：九月三十日(土) / 場 所：平泉文化遺産センター

担当：小崎 真樹(副会長)

内容：親、教師の活動：ヒューアフリートーク 当事者同士の語り合い
子の活動：「平泉の歴史をさぐる」

- ・グループ(支部長や会長、一般会員、先生)に分かれて意見交換を行い、それに対して助言も行った。まとまりのある意見交換会になった。
- ・親同士で話をする機会が少ないので、このような交流会は貴重である。
- ・親の会の説明で、活動内容や重要性を理解できるように工夫する。
- ・親の会活動へ親が主体的な教室と、教師が主体的な教室とまちまちである。教室課題や意義をどう引き継ぐかが課題である。

沿岸ブロックA (岩泉・田野畑・宮古・山田)

活動日：八月二十六日(土) / 場所：B & G 海洋センター
担当：岡崎 清弘(副会長)
内容：親子活動：「スポーツ」 / 学習会：「幼児教室設置について」

・岩泉支部と田野畑支部が合同で、幼児教室の必要性についての学習会を行った。その後、岩泉支部は、教育委員会訪問を行い、幼児教室設置を要望した。
・宮古支部と山田支部は、それぞれの支部で学習会を行った。

沿岸ブロックB (遠野・釜石・大槌・気仙)

活動日：十一月十二日(土) / 場所：大船渡市立盛小学校
担当：櫻岡 正久(副会長)
内容：親子活動：「ニュースポーツ」子の活動：「読み聞かせ」
親活動：「座談会」

・参加者のことばの教室への入級を迎えるまでの経緯と気持ちを振り返り、親の会の「だれもが、いつでも、どこでも」の目的を果たすための話し合いを進めた。
・親の会は、「ことばの教室」の先生が指導しやすい環境を整えるために、教育委員会への訪問等を取り組む必要があるということがわかった研修会だった。

県北ブロック (①二戸・一戸・軽米・九戸・②久慈・洋野)

①活動日：十二月 二日(土) / 場所：二戸市立石切所小学校
②活動日：十二月 九日(土) / 場所：久慈市立久慈小学校
担当：岡崎 清弘(副会長)

内容：①「親子餅つき大会」・「ニュースポーツ体験」・各地区活動報告・合宿研修会を行う意義の確認

②親子活動：「ポップカード作り・カレー作り」
親の活動：「学習会」 / 子の活動：「ミニゲーム」
・平成三十二年度開催予定の親子合宿研修会に向けて、意思疎通を図ることができた。
・久慈支部と洋野支部の親の会の歩みについて学ぶことができた。

《「吃音がある子と保護者の交流会(すっぴんの会)》

一月二十日(土)に「すっぴんの会(吃音のある子と保護者の交流会)」が開催されました。会場のいわて県民情報交流センター「アイーナ」には、県内各地のことばの教室や幼児教室から、子ども十四名・保護者十四名・先輩二名・先輩の保護者一名・先生十四名・親の会一名・言友会一名 合計四十八名が集まり交流しました。
子どもたちがレクリエーションを楽しんでいる間、保護者は、三つのグループに分かれ、日頃、かかえている悩みを語り、思いを共感したり、新しい見方や考え方を聞いたりすることができました。先輩のお母さんや、言友会(吃音のある方々の全国組織)の方の話も大変参考になり、短い時間でしたが、子どもたち、保護者とも有意義な時を過ごすことができました。
この会は今年で十七回目となります。遠くから参加してくださる親子もあります。吃音へよりよい理解への一助となり、子どもたちの笑顔が広がることを願いました来年も開催いたします。



《釜石小ことばの教室 創立五十周年》

平成二十九年十一月二十二日（水）に、釜石市立釜石小学校体育館において、ことばの教室五十周年記念式典が開催されました。旧大渡小学校時代から岩手県における「ことばの教室」教育の先駆けとしての役割を果たしてきた歴史を振り返り、さらなる充実が誓われました。

式典には、野田釜石市長を初め、多くの関係者のご臨席のもと約百三十人が出席されました。教室開設、運営に尽力された五人一団体に感謝状が贈呈され、開設から現在までの歩みを振り返りました。「五

十年の振り返り」では、初代担任の菊池義勝先生、初代親の会会長夫人の落合ハルさん、県親の会前会長の佐々木信孝さんの対談を行いました。

また、同校の児童による虎舞や当時の大渡小学校校歌と釜石小学校校歌も披露されました。

これまでの歩みをまとめた記念誌が作成され、県内の各支部事務局へも配布していただきました。



《やまびこ会学習会》

十二月二十三日（土）に「やまびこ会（岩手県難聴者の会）学習会」が開催されました。会場の岩手県立視聴覚障がい情報センターに、やまびこ会会員と県内のきこえの教室の児童・生徒と保護者が集まり、講演会と交流会を行いました。

講演は、盛岡医療福祉専門学校 心理福祉学科教員 畠山 修氏により「私のライフストーリー ～聞こえない人生は素晴らしい～」と題した話をお聞きしました。畠山先生がこれまでの経験の中で悩んだことや苦労されたこと、悲しみや喜び、そして出会った先生方のこと等を大変分かりやすく話していただきました。その後、二つのグループに分かれて交流しました。

やまびこ会は、今年度で三十五周年を迎えました。会員の交流の場、現役の「きこえの教室」の児童・生徒、保護者とのつながりの場となり、これからも続いていくことを願っています。なお、畠山先生の講演の内容は、全国難聴児を持つ親の会発行の「ベル」NO. 176に掲載されました。

《東北ブロック会議・研修会》

十一月四日（土）・五日（日）に、青森県八戸市 グランドサンピア八戸にて、東北ブロック内の青森・岩手・宮城・福島親の会の役員が集い、代表者会議が開催されました。本県からは、主濱友子 会長、小原俊彦 事務局長、ブロック顧問の菊池義勝 先生が出席しました。

「平成二十八年年度決算報告」「各県の活動状況、行政機関等への要望内容、課題等」「次期ブロック長とブロック会議」等についての意見交換を行いました。その後、青森県教育庁三八教育事務所 教育支援アドバイザー 千葉隆史氏を講師に「子ども一人一人の特性に応じた子育て支援」と題した講演を聴き、研修が行われました。

会議では、次期ブロック長に本県の主濱友子会長が選任され、平成三十年十月下旬に本県で次回のブロック会議を開催することが決まりました。

県親の会からのインフォメーション

《全国ことばを育む会が表彰を受けました》

平成二十九年年度障がい者週間関係表彰式が行われ、「NPO法人全国ことばを育む会」が内閣総理大臣表彰を授与されました。これは「平成二十九年度障害者週間の取り組みの一環として、自立して社会活動に参加し、広く他に範を示している障害者又は障害者の福祉向上に関し顕著な功績のあった個人若しくは団体を顕彰するもの」で、五年に一度の団体表彰受賞となったようです。

岩手県親の会としても大変喜ばしいことで、今後活動する上で、とても励みになる嬉しいお知らせでした。

